

10月5日（土）南寿荘の大広間にて、
横浜市職員落語愛好会の湊家加け橋さんによる
SDGsの落語と、藤山千鶴江さんによる、渡り鳥の
生態を通してのSDGs講座を開催しました。

落語は、この日のために加け橋さんが創作された
これまでにない“SDGs落語”です。

SDGsをしっかりと踏まえながら、手品も盛り込み、
落語に聴き慣れた参加者の方々をも唸らせるほどの
素晴らしい出来栄でした。

加け橋さんならではのユーモア溢れるお人柄を反映し
た笑い所で、参加者をしっかり満足させて下さいました。



また、藤山先生の講座では『渡りはつらいよ』と名付けられたゲームを皆さんで楽しみました。
渡り鳥の行動をパネルにしたものを1枚ずつ床に並べ、サイコロを振って目の数だけ進みますが、
パネルの指示に従い、時には羽ばたく様子や水を飲む様子を体で表現しながら進みました。
皆さん、手を翼のように広げて羽ばたく様子を表現したりしながら、楽しく参加して下さいました。



【参加いただいた皆様からのご感想（一部）】

- 落語も鳥の講座もとても勉強になりました。
- とても楽しい企画でした。
- SDGs、勉強しないといけないことが沢山あると思いました。
- SDGsについて親しみを感じた。
- 今後も環境問題にできる限り協力していきます。
- SDGsを前提にした落語、新作とのことですが、とても良かった。
- SDGsは、本当に一人一人考えないとイケませんね。
- 落語、手品とても楽しかったです。
- 色々と生活の見直しを考えてみたいと思いました。
- 渡り鳥を違った視点で話を聞いたので、空を見る時に思い出したいと思う。
- 渡り鳥のパフォーマンス、楽しくて勉強になり、鳥の環境を考えていきたいと思いました。